

国土交通大臣認定取得品

【ケーブル貫通部防火措置工法】

キャブシールエコ

耐熱シール材

キャブシールエコ 〈グレー〉



キャブシールエコ 特性値・性能表

項目	特性値	試験条件
①色相	グレー	目視
②比重	1.8 ± 0.1	JIS-K-0061
③軟度	90 ~ 120	JIS-A-5752
④酸素指数	55以上	JIS-K-7201
⑤加熱減量	1%以下	JIS-A-5752 (105°C×3h)
⑥灼熱減量(wt%)	42	700°C × 30分
⑦膨張率(vol%)	70	700°C × 30分
⑧耐水性	異常なし	水道水浸漬 × 7日
⑨耐沸騰水性	異常なし	沸騰水中 × 5時間
⑩耐塩水性	異常なし	3%食塩水浸漬 × 7日
⑪耐酸性	表面軟化	3%塩酸浸漬 × 7日
⑫耐アルカリ性	異常なし	3%苛性ソーダ浸漬 × 7日
⑬耐腐蝕性	異常なし	JIS-A-5752
⑭ゴム・プラスチックへの影響	異常なし	PE・XLPE・PVC等
⑮絶縁性 体積抵抗率	2 × 10 ¹³ Ω・cm	—
絶縁破壊電圧	6 KV/mm	厚さ 2.5mm
⑯耐火性	他方に延焼せず	ケーブル貫通部をパテで塞ぎ一方よりバーナーで1時間燃焼させる。
⑰作業性	良好	JIS-A-5752

非硬化
タイプ



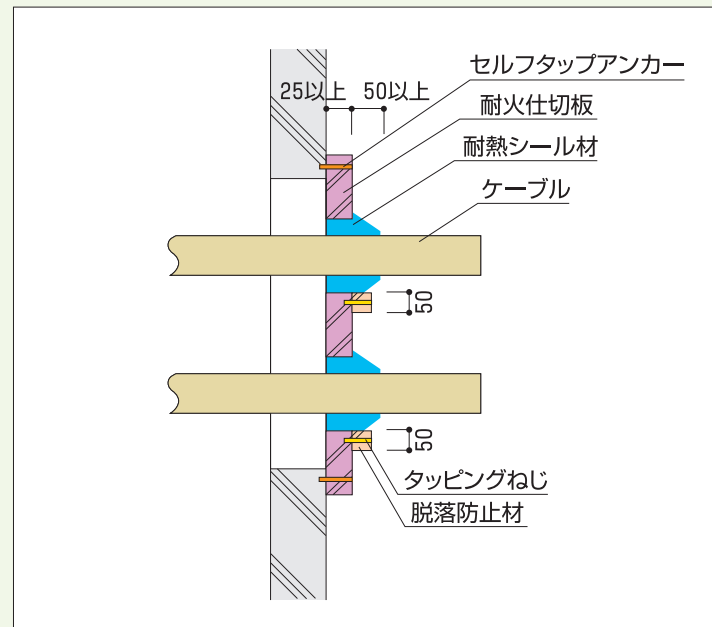
関西パテ化工株式会社

本社：〒579-8003 東大阪市日下町3丁目7-36 TEL(072)982-2131代 FAX(072)982-2135
東京支店：〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目14-10 TEL(03)3850-3191代 FAX(03)3850-3193
北九州営業所：〒803-0815 北九州市小倉北区原町1丁目9-3 TEL(093)571-7156代 FAX(093)571-7159

壁・珪カル板片側施工法

国土交通大臣認定番号 PS060-WL-0239

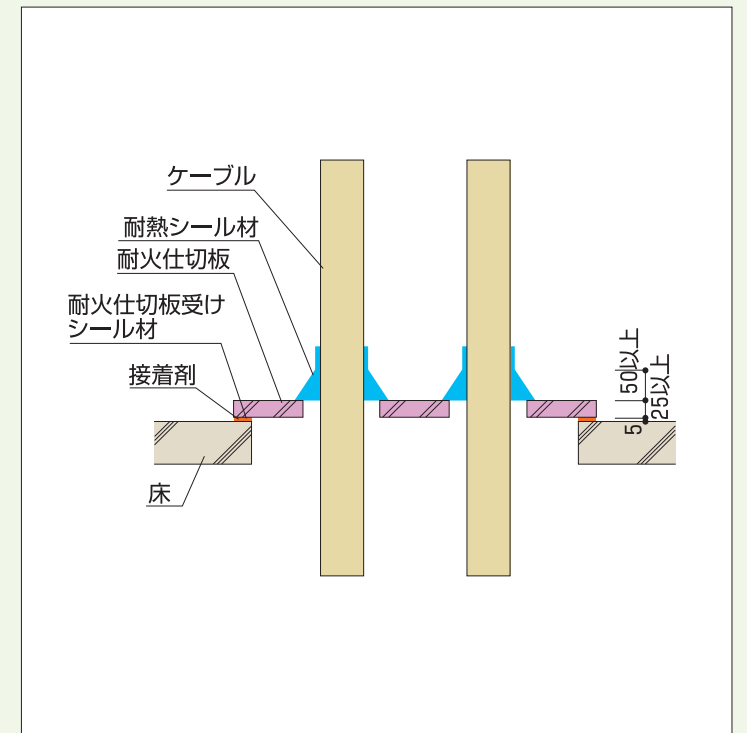
- 貫通する床又は壁の構造／鉄筋コンクリート厚さ100mm以上(中空壁を除く)
- 開口部の面積及び形状／0.6㎡矩形
- 占積率／15.5%
- 主な仕様
 - イ) 珪カル板の厚みは25mm以上で留付用アンカーはφ6以上でタッピングネジはφ3.8以上を用いて留付ピッチは290mm以下にて留付ける。
 - ロ) 耐熱シール材の充てんはテーパ状に50mm以上盛りあげる。又CV(E) T325mm²のケーブルについては追加巻50mm以上厚さ5mm以上巻き足しその表面をガラスクロスにてカバーし、その後鉄線にて結束する。
- ハ) 鋼製電線管布設可



床・珪カル板床上施工法 (スリーブなし)

国土交通大臣認定番号 PS060-FL-0174

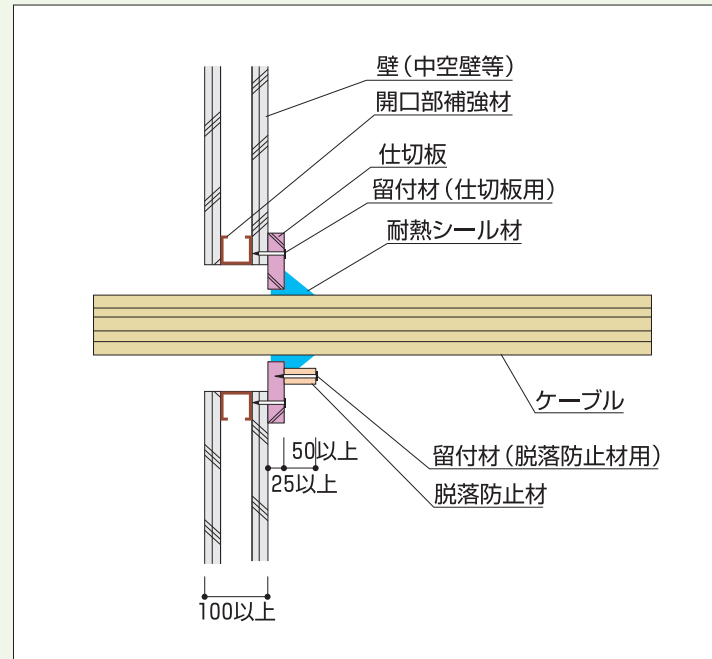
- 貫通する床又は壁の構造／鉄筋コンクリート厚さ100mm以上(中空壁を除く)
- 開口部の面積及び形状／0.6㎡矩形
- 占積率／16.9%
- 主な仕様
 - イ) 珪カル板の厚みは25mm以上にて床への留付方法は二通りある。一つは接着剤を用いて(詳細は国土交通大臣認定証施工方法の項目を参照。但し接着剤は別売り)留付ける方法ともう一つはタッピングビスを用いる方法である。
 - ロ) キャブシールエコの充てんは盛り上げ高さ50mm以上、巾は30mm以上とする。又CV(E) T325mm²の場合は円錐状の先端から更に高さ50mm以上厚さ5mm以上巻き足す。
- ハ) 電線管の布設も可。



中空壁・珪カル板片側施工法

国土交通大臣認定番号 PS060-WL-0330

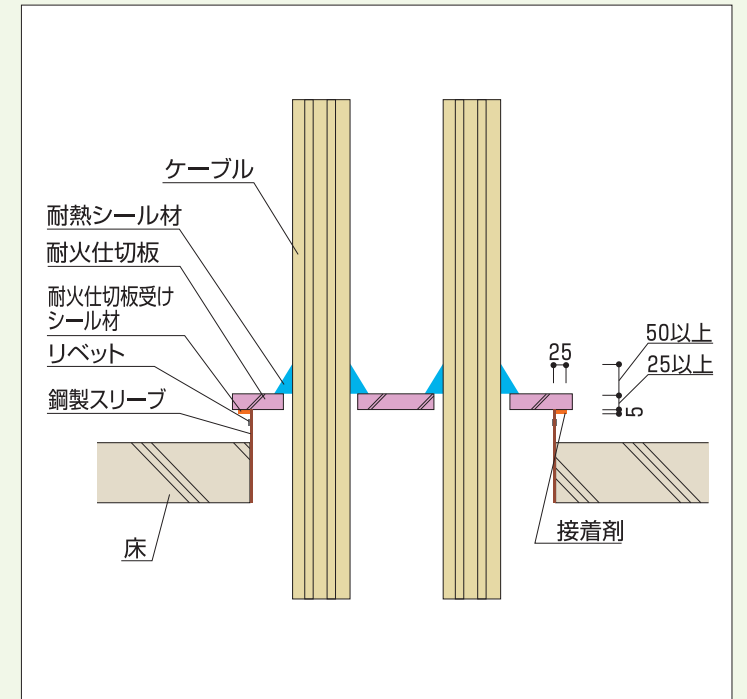
- 貫通する床又は壁の構造／中空壁、ALC壁、鉄筋コンクリート壁但し厚さは100mm以上
- 開口部の面積及び形状／0.24㎡矩形
- 占積率／19.4%以下
- 主な仕様
 - イ) 珪カル板の厚みは25mm以上で留付用アンカーはφ6以上でタッピングネジはφ3.8以上で留付ピッチは230mm以下とする。
 - ロ) 耐熱シール材の充てんはテーパ状に50mm以上盛りあげる。又CV(E) T325mm²のケーブルの場合はさらに追加巻、50mm以上厚さ5mm以上巻き足しその表面をガラスクロスにてカバーし、鉄線を用いて結束する。
- ハ) 鋼製電線管及び合成樹脂可とう管の布設も可。



床・珪カル板床上施工法 (スリーブあり)

国土交通大臣認定番号 PS060-FL-0277

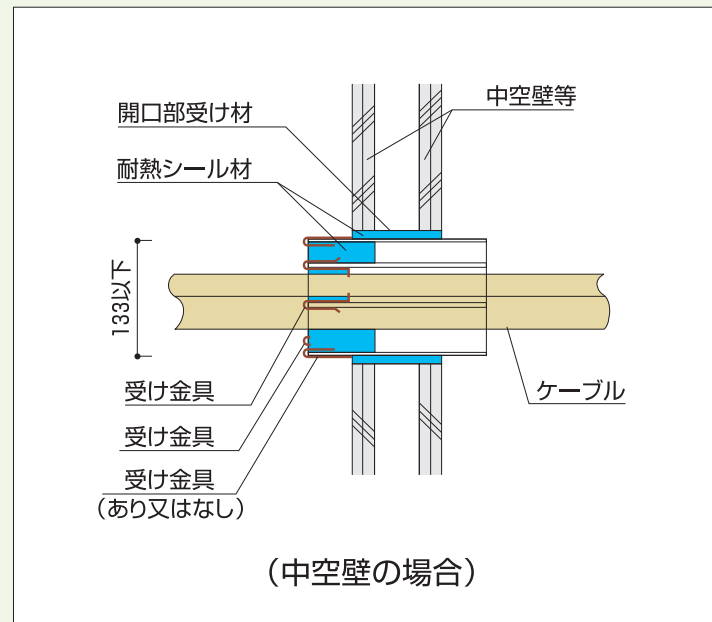
- 貫通する床又は壁の構造／鉄筋コンクリート厚さ100mm以上(中空壁を除く)
- 開口部の面積及び形状／0.6㎡矩形
- 占積率／18.8%
- 主な仕様
 - イ) 珪カル板の厚みでスリーブの留付方法は二通りある。一つは接着剤を用いて(詳細は国土交通大臣認定証施工方法の項目参照。但し接着剤は別売り)留付ける方法ともう一つはタッピングビスを用いる方法である。
 - ロ) キャブシールエコの充てんは盛り上げ高さ、巾共50mm以上とする。又CV(E) T325mm²のケーブルは更に高さ70mm以上厚さ5mm以上巻き足す。
- ハ) 鋼製電線管及び合成樹脂可とう管共布設可。



壁丸穴電線管 キャブシールエコ充てん工法

国土交通大臣認定番号 PS060-WL-0335

- 貫通する床又は壁の構造／中空壁、ALC壁、鉄筋コンクリート壁但し厚さ100mm以上
- 開口部の面積及び形状／φ133mm以下 円形
- 占積率／72.7%以下
- 主な仕様
 - イ) 開口部中の鋼製電線管の管内面積に対する合成樹脂可とう管及びケーブル断面積の総合計の割合は35.4%以下。
 - ロ) 受け金具は3種類あり、その使い方は大臣認定書中の施工方法の項目を参考。



▼ PS060-FL-0277工法 施工例



CFAJ®

ケーブル貫通部の防火措置工法

認定番号 PS060FL-0000

PS060WL-0000

認定取得会社 関西パテ化工株式会社

施工会社

講習会修了番号

施工年月 年 月

△ 警告

- ケーブル貫通部の防火措置部の上に乗らないで下さい。開口部が破壊して転落および火災貫通の危険があります。
- ケーブルを追加通線するか、除去する場合は当ラベルに記載された認定取得会社または施工会社へご相談下さい。不適切な材料の使用や修理では火災貫通の危険があります。

ケーブル防災設備協議会